

留学報告書 II (2025 年度小 5 コース留学生)

塾内在籍校・学年(派遣時)	慶應義塾横浜初等部 5 年
留学先校名	Dragon School
留学期間	2025 年 9 月から 2026 年 7 月まで

留学を振り返って

留学に行く前に期待していたこと、心配していたことはありましたか。実際に行ってどのように変わりましたか。

【期待していたこと】

- 英語が上達すること
 - 初めの 3 日ほどで耳が英語に慣れ、1 ヶ月ほどで授業でも発言できるようになりました。3 ヶ月から 4 ヶ月で友達や先生と日常の会話が問題なくできるようになりました。
 - 留学が終わる頃には、頭でいちいち翻訳しなくても自分の言いたいことを英語で伝えられるようになりました。
- 外国人の友達がたくさんできること
 - 最初は、言葉も国籍もまったく違う生徒ばかりで緊張しました。しかし、とくに寮の友達が声をかけて遊びに誘ってくれたり、学校でバディになった友達が次の教室を教えてくれたり、親切にしてくれたことで少しずつ仲良くなりました。
 - 寮や学校では、International Event として自分の国の文化や食べ物などについて紹介する機会がありました。ほかにも寮生のお母様方が自国の料理や行事のグッズを持ってきてくださったり、僕たちもガーディアンさんに頼んでラーメンパーティーをしていただいたりと、食べ物や文化を通してその国について知ることでお互いよい印象を持つようになり、初めは苦手だと思っていた友達とも後半はとても仲の良い友達の一人になることができました。
 - 学年の最後には、僕が日本に帰ってしまうからと友達がお土産をくれました。また最後の Sports Day では、みんながお別れのハグをしてくれ、泣いてくれた子もいました。
- 寮生活でずっと友達といること
 - 朝から晩までずっと友達がいる環境なので、自由時間にはサッカーや卓球をしたりして、つまらないと思うことは全くありませんでした。本当に毎日が楽しく、期待以上でした。

【心配していたこと】

- 英語が通じるか
 - 英語は最初の 1 ヶ月あまりはうまく話せませんでした。が、勇気を出して積極的に話すようにしたことで、単語単語で話していたのが、文章で話せるようになりました。
 - 周りの先生や友達は、ぼくが上手に話せなくても、一生懸命話を聞こうとしてくれました。また、相手の言うことが分からないときに適当に「Yes.」と言ってしまおうと思わぬ方向に話がすすんでしまうため、もう一度言っていただくようお願いしました。すると、相手が簡単な言い方に変えて話してくれたため、内容を正しく理解し、行き違いをなくすることができました。
- 家族と離れて寂しくないか
 - 寮生活を始めて 3 日後くらいに、英語が分からないストレスに両親に相談できないことの辛さが加わって少しホームシックになりましたが、寮長先生と先生の犬が慰めてくれました。
 - ホームシックになりそうな時には、両親に電話をかけたり、寮の友達と遊ぶことで寂しさを和らげることができました。希望すれば週に 1 回両親とのビデオコールもできました。
 - 1 ヶ月後くらいにもう一度ホームシックの波が来ましたが、その後はもう大丈夫でした。毎日忙しいのと友達といるのが楽しすぎて、両親に電話する回数も減っていきました。
- 食事がおいしいか
 - 食事はおいしくないという印象でイギリスに渡りましたが、僕は意外と好きでした。ビュッフェ形式で朝食から夕食まで食堂でいただきますが、好きなものを選んで取ることができます。
 - イギリスの伝統で、金曜日には Fish and Chips、日曜日には Sunday Roast がでて、とてもおいしく感じました。
 - 学期の終わりやクリスマスのイベントの時には豪華な食事の House Supper があり、盛りだくさんのおいしい食事で満腹になりました。

クラブ活動や課外活動など、勉強以外の活動について教えてください。

【学校での活動】

- アクティビティ（必須）
授業時間内に選択科目のようなものが週2コマあり、学期ごとに選べました。
秋学期は Art と EAL、春学期は Indoor Sculling と EAL、夏学期は Musical と EAL を取りました。
*EAL：英語がネイティブではない同じ学年の生徒が集まって一緒に英語を学びます。他に個人の EAL もありました。
*Indoor Sculling：マシンを使ってスカリング（ボートをこぐ）の動きを練習します。
- アフタースクールクラブ（任意）
運動系・文化系などたくさんの種類の中から、好きなクラブを選ぶことができます。
特にポロは学校外の専用の施設で学校外の先生が教えてくださり、上達は早かったと感じています。ポロは大会にも出場し、とても良い経験が出来ました。
水泳とテニスは Squad という選抜チームに入ることができ、その練習がありました。
- クエスト（必須）
土曜日の午前中に行う体験学習で、運動系・文化系さまざまな種類から選ぶことができます。
Quest ではクラブよりも専門的で、例えば「Dragon in Space」では現役の NASA 職員の方が実験や講義をしてくれたり、「Dragon Launch」のプログラミングでは実際に 3D プリンターで飛行物体を作ったり「Big Bang Dragons」では爆発で飛ぶロケットを作るなどたくさんの面白い実験をしました。ゴルフでは実際のゴルフコースに行き、スイングやマナーを習いました。
- スポーツ（必須）
体育 (PE) とは別に、タームごとにメインのスポーツの時間があります。
秋学期はラグビー、春学期はホッケー（サッカーも選べます）、夏学期はクリケットでした。各種目レベル別に4チームほどに分かれていて、毎週水曜日に対外試合 (Match) があります。Match は Home と Away があり、Away のときはバスで他校に移動して試合を行いました。
- ミュージカル（任意）
夏学期の終わりに学年のミュージカルの発表があり、ぼくは歌のソロパートをつとめました。夏学期のアクティビティや放課後クラブの一部がその練習時間となり、本番直前は長時間の練習やリハーサルがあって大変でした。本番は3日間にわたり上演され、大成功をおさめました。
- 音楽の個人レッスン（任意）
ピアノの先生はとても優しい先生で楽しく教えてくれ、学校でのミニコンサートやキーボードフェスティバルでも演奏の機会をいただきました。また、学年の最後に ABRSM（英国王立音楽検定）のピアノのグレードテストを受けました。課題曲3曲と音階のほか Aural（口頭試問）や Sight Reading（初見演奏）など、それまで経験のないことをしかも英語でやるということは、ぼくにとってはとても大きなチャレンジでした。しかし、やるからには受かるつもりでやる、と気合を入れて、エクシアート中や少しの休み時間にも練習を頑張りました。そして無事合格することができました。背中を押し全力で応援してくださった先生方やガーディアンさん、両親にはとても感謝しています。
- チャリティイベント（任意）
 - ・ Dragon Sale
クリスマスの頃に、お店 (Stall) を出してお菓子や小物などを売り、売上げを寄付するイベントです。ぼくは寮生の友達と綿あめと日本のお菓子进行、大盛況でした。
 - ・ Governors' Challenge
1人5ポンドを学校から受け取り、それを工夫して増やし、利益をチャリティに寄付するイベントです。1人でおこなっても4人以内でチームを組んでおこなってもよかったため、僕は寮の友達と4人でチームを組みました。お店を出せる日が2回あったので、そこで自家製のレモネードとホットチョコレート、レモンティーを販売し、2日とも完売しました。最終的に材料費をひいても120ポンド以上の利益が出ました。
- School Trip（任意）
 - ・ Davos Ski Trip（春学期ハーフターム）
 - ・ Normandy French Trip（3月）

【寮での活動】

- 週末には、さまざまなところへ Trip に行きました。例えば、キャドバリーのチョコレート工場、レゴランド、動物園、サーカスなどです。
- 誕生日にはそれぞれ BA (Boarding Assistant) さんに好みのケーキを焼いてもらい、寮のみんなでお祝いしました。

勉強について

各授業の内容・進め方・宿題・テストについて、日本との比較に触れながら記入してください。

授業の進め方で特に興味深いものがあれば、具体的に教えてください。

【授業】

- Form (日本でいうクラス) に所属していますが、ほとんどの科目がレベル別の授業に分かれています。Math など得意な科目は難しい問題にも挑戦でき、French など他の子がすでに何年も勉強している科目でも楽しく学べました。
- どんな意見を言っても評価してもらえるので発言がしやすかったです。僕が間違えた答えを言ってしまった時にもどのようにその答えに辿り着いたかを聞いて、そしてどこで間違えたかを教えてくれました。
- ほとんどの授業では教科書ではなくプリントに沿って進めます。時間制限なく、難しい問いを出してじっくり考えさせる授業が多かったです。
- Math 以外では鉛筆は使わずペンまたは万年筆を使いました。
- 日本にはない科目として、Latin や French、FPE (宗教や道德のようなもの)、Reasoning (小学校受験のペーパー試験のようなもの)、Programming、Geography、Drama、DT (Design and Technology) 等がありました。

【その他】

- 授業や宿題を頑張ったり親切にしたりすると「Plus」がもらえる制度があります。また、学年末には Prize Giving があり、様々な分野で頑張った生徒が表彰されます。このような制度は日本にはないですが、あれば励みになると思いました。

今後の派遣留学生へのアドバイス

塾内選考前にどのような準備をしていましたか。

- 応募前には、過去の派遣留学生の留学報告書を読み、説明会に参加しました。
- 応募すると決めてからは、志望理由書と作文を時間をかけて準備しました。
- 二次試験はとくに面接で志望理由や自分の強みを答えられるように考えをまとめておきました。

事前に日本で学習しておいた方が良いことや、用意しておいた方が良いことがあればお知らせください。

- 事前に英語に耳をならしておくとよいと思います。例えば、ハリーポッターを英語で日本語字幕付きで見るのもよいと思います。
- イギリス人の子どもや先生 (とくに FPE の先生) はとても熱心に日本について質問してくるので、日本について説明できるよう、簡単にまとめておくとうよいと思います。また、もし日本の伝統文化を知っていたら、それについて紹介できるよう準備しておくとうよいと思います。ぼくは空手と茶道を習っていたので、道着と茶道具を持参し紹介しました。

以上

